

地域の力による水辺環境再生の取り組み

岩手河川国道事務所で平成19年度から実施している、北上市和賀川合流点付近での自然再生事業に関連し、**地域による取り組み**として、一般社団法人いわて流域ネットワーク（河川協力団体）主催による「**和賀川スワンプ自然再生作業**」が行われます。

この取り組みは、地域住民や地元NPO、地元企業、学生などの参加により、河川敷の小水路を堰き止め、陸地化した乾燥地の湿地（スワンプ）づくりを行い、外来種であるハリエンジュなどが育ちづらい本来の水辺環境に戻す取り組みです。

作業終了後には、周辺の自然観察会を行い、地域の環境についてみんなで学びます。

- 1) 実施日時
11月19日（土） 10時00分～12時00分
- 2) 実施及び集合場所
和賀川右岸（北上川合流点より1kmほど上流）【別添地図を参照】
- 3) 実施内容
地域住民、地元NPO、地元企業、学生などによる小水路を利用した湿地づくり
【別添チラシ参照】
- 4) 主催
一般社団法人 いわて流域ネットワーク（河川協力団体）
- 5) 協賛
岩手河川国道事務所

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、北上記者クラブ》

<問い合わせ先>

【取り組み内容に関すること】

一般社団法人 いわて流域ネットワーク

担当： きくち たくみ
菊池 拓巳

TEL 019-681-2622

【事業に関すること】

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副所長（河川） みうら よしあき 三浦 義昭 建設専門官 うるしはら かずや 漆原 和也

TEL（代表）019-624-3131（工務第一課直通）019-624-3198

<和賀川自然再生事業とは>

北上川・和賀川合流点の河原は昭和30年代まではレキ河原でした。近年は、レキ河原が消失し、陸地化した場所に外来種である「ハリエンジュ」が繁茂し、著しく樹林化が進んでいます。このことにより、河川環境の多様性が失われ、特に、レキ河原を生息場所としている鳥類、昆虫等や在来植物が減少しています。この事業では土砂掘削や、外来種の伐採により、かつてのレキ河原を再生し、多様な自然環境の保全、創出を行うものです。

「和賀川スワンプ自然再生作業」実施箇所 位置図



「和賀川スワンプ自然再生作業」

北上川と和賀川の合流点で、湿地を創出し本来の水辺の環境に戻すことを目的として、湿地創出の作業(スワンプづくり)を行います。また植物の観察会も行い、現在のこの場所の植物について学びます。



参加費：【無料】

日時：平成28年11月19日(土)10:00~12:00

集合場所：北上川と和賀川の合流点より1kmほど上流の和賀川右岸堤防(下図参照)
岩手県北上市鬼柳町古川15

作業内容：スコップを使用しての溝掘り作業、石を積み上げての堰づくり
植物の観察会

持ち物：軍手、長靴、防寒具、飲み物、タオル、汚れた時用に着替え、雨具(傘不可)

服装：長靴、外で作業を行うので温かい服装でお越しください

主催：一般社団法人いわて流域ネットワーク

協力：NPO法人わが流域環境ネット
ケミコン岩手株式会社

協賛：国土交通省岩手河川国道事務所

申込・問合せ：一般社団法人いわて流域ネットワーク
TEL019-681-2622 FAX019-681-2517
E-mail:i_ryuiki@ybb.ne.jp
担当:菊池 携帯 090-5187-8343

